

うちとく／ート



なまえ

うちどく（家読）とは…

「うちどく（家読）」とは、「家庭読書」の略語で「家族ふれあい読書」を意味し、「家族みんなで読書をすることで家族のコミュニケーションを深める」ことを目的にした読書活動です。難しいルールはありません。家族で同じ本を読み、読んだ本について感想を話し合みましょう。

うちどくノートの使い方

《 記入例 》

1

読んだ日
20X△年 〇月 〇日 (△)

さつめ

本のタイトル **ふたりはともだち**

作者 **アーノルド・ローベル**

冊 冊 冊 冊 冊 冊 冊 冊 冊 冊



1 2 3 4 5 6 7 8 9 - 0

としょかんの本をみてかいてね。
これは本の住所だよ。
↓本の背中のラベルをかこう。

933

よんだ気持ちをすきな色でぬってね！







おもしろい！
まあまあ
びっくり！
かなしい

★じぶんのかんそう★

わたしも、かまくんやかえりくんとともだちになりたいと思った。



★かぞくのかんそう★

絵がとてもきれいで、かまくんもかえりくんもかわいね。やさしいおはなしでした。



★本を読んだら、読んだ日にちやタイトルを書こう！

★本に貼ってあるバーコードの数字を書いてね。
本の背中のところにもシールが貼ってあるよ！

★読んでどんな気持ちになった？
好きな色でぬってみてね。

★おもったことやわかったことを文章や絵で自由に書こう！

☆ノートがいっぱいになったら、図書館のカウンターの人にを見せてね。スタンプをおすよ。